



猛暑日を記録することもなくなり、朝晩はだいぶ過ごしやすくなりました。運動会が終わった後も、校外学習や校内音楽会など、大きな行事が続きます。多くの行事で実力が発揮できるよう、これからも体調には十分にお気をつけください。

デフリンピックとパラリンピック 歴史が古いのはどちらでしょうか？

令和7年11月15日（土）～26日（水）の12日間、
「第25回 夏季デフリンピック競技大会 東京2025」
が開催されます。

突然ですが、ここで問題です。

「デフリンピック」と「パラリンピック」、歴史が古いのはどちらでしょうか？

「デフリンピック」も「パラリンピック」も、4年に1回開催される国際スポーツ大会です。**第1回のデフリンピックは、1924年**にフランスのパリで開催されました。今回の東京大会は100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催となります。

一方、**第1回のパラリンピックは、1960年**にイタリアのローマで開催されました。今年で64周年となります。

デフリンピック東京大会では、陸上、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレーボール、ボウリング、自転車（ロード）、自転車（マウンテンバイク）、サッカー、ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手、オリエンテーリング、射撃、水泳、卓球、テコンドー、テニス、バレーボール、レスリング（フリースタイル）、レスリング（グレコローマン）の21の競技が開催されます。

デフリンピックへの出場資格ですが、『音声の聞き取りを補助するために装用する補聴器や人工内耳の体外パーツ等はずした裸耳状態で、聴力損失が55デシベルを超えている聴覚障害者で、各国のろう者スポーツ協会に登録している者』（全日本ろうあ連盟スポーツ委員会より）とされています。つまり、聞こえの良いほうの耳の聴力が55dB以上なら、出場資格があります。例えば、片耳が55dB、もう片方が60dBなら出場資格があり、片耳が55dB、もう片方が50dBだと出場資格がないということになります。

デフリンピックは、視覚からの情報保障がとても充実しています。例えば、陸上のスタートは音だけでなく、ライトも使用します。また、サッカーなどの審判は、笛と旗の両方を使います。東京大会の開催が、「デフスポーツ」だけでなく、字幕や要約筆記、手話通訳等の「視覚による情報保障」というものが注目されるきっかけとなればと思います。

1・2月の予定

日	曜	行事予定	
		午前	午後
1/19	月		職員会議 15:50～
20	火	※通級指導教室 新担当教員研修会	総合教育センター（三上）
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		【小学生】難聴グループ指導 15:30～ 西小
27	火		※上尾市教育委員会委嘱 研究発表会 13:15～
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
2/1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金	※就学支援委員会 部会 9:30～ 西小	
7	土		
8	日		
9	月		企画委員会 15:50～（高野）
10	火		※通級担当者研修会 14:00～ 芝川小
11	水	建国記念の日	
12	木		
13	金		※埼特研難言部会 13:30～ 吹上生涯学習センター
14	土		
15	日		
16	月		職員会議 15:50～
17	火		
18	水		

9月26日（金）現在の行事予定です。都合により、変更となることもあります。

お知らせ

- ◆1/20（火）三上の指導はありません
- ◆1/27（火）午後の指導はありません
- ◆2/6（金）午前の指導はありません

- ◆2/10（火）午後の指導はありません
- ◆2/13（金）午後の指導はありません